

Game生活の ススメ Vol.189

by TTM

ベルを鳴らして果物を手に入れる「ハリガリ」は、Haim Shafir氏により作られてから30年以上。子どもたちにはチンチンゲームなどとも呼ばれ、ご家庭や保育・教育の現場でも大人気。そんなハリガリシリーズの仲間をご紹介します。

ハリガリシリーズの作者であるHaim Shafir (ハイム・シャフィール) は1950年生まれ、イスラエル在住。大人と一緒に、家族で楽しめる子ども向けゲームを数多く生み出してきた。ハリガリシリーズの他にも、ディンゴ(1985)、ダイナマイト(1986)、ココタキ(2002)、ハルーンズ(2003)、よくみてごらん/どこがかわった?(2014)など人気作品が多い。

『ハリガリゲームの巻』 アミーゴ社(ドイツ)

ハリガリ

1992年発売
¥3,080

・人数：2～6人
・対象：6歳位～
・時間：約15分

カード56枚、ベル1個



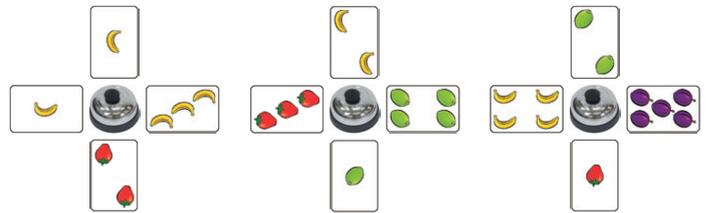
場に同じ果物が5個そろったら、いち早くベルを鳴らすスピードゲーム。一番多くカードを集めた人の勝ち。大人も楽しめる、王道のパーティーゲームです。



カードをめくるときに場の果物の数が変化していく緊張感。出したカードで果物が減って5になる、引き算の場合にも要注意。

ゲームの流れ

- ・カードをよく混ぜ、裏向きに均等に配る。ベルはテーブルの中央に置く。配られたカードは裏向きのまま自分の前に積み、手札とする。
- ・時計回りに順番に手札を1枚めくり、表向きに自分の場札に重ねていく。
- ・見えている場札の中で、同じ果物の合計が5個になったことに気づいた人は、素早くベルを鳴らす。
- ・正しければ全員の場札をもらい、自分の山札の一番下に重ね、その人からゲームを再開する。
- ・間違えてベルを鳴らしたときは、手札から1枚ずつ他の人に渡す。
- ・手札がなくなった人はゲームから脱落する。
- ・最後にカードが一番多く集めた人の勝ち。



バナナ

$1 + 1 + 3 = 5$

プラム

$1 + 4 = 5$

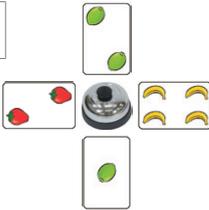
ライム

$1 \text{枚で} 5$

足し算を使わない簡単な遊び方

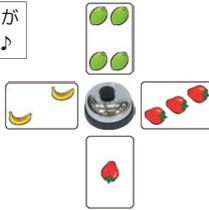
決めた果物が
出たらチン♪

次は
「イチゴ」!



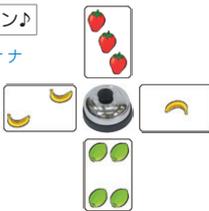
決めた数字が
出たらチン♪

次は
「2」!



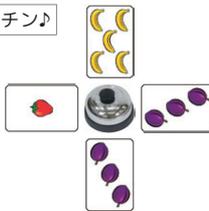
同じ果物でチン♪

バナナとバナナ



同じ絵柄でチン♪

おなじ
見つけた!

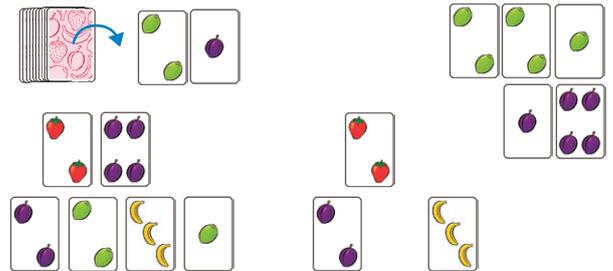


自分の絵柄を先に見て有利にならないよう、手札は向こう側からめくるようにするのがこのゲームのマナー。



ベルを使わない果物5個集め

連で決まる足し算ゲーム。裏返しに積んだカードを2枚ずつめくり、表向きに場に並べる。場のカードの中で、足して「5」になる同じ果物の組み合わせがあればもらえる。順にくり返し、最後に集めたカード枚数の多い人が勝ち。



手札がなくなっても、参加してベルを鳴らし、カードを再び手に入れて続けられるルールにしても楽しい。

ハリガリ・ツイスト

2023年発売
¥3,080

・人数：2～4人
・対象：7歳位～
・時間：約15分

カード56枚、ベル1個

通常のハリガリとは異なり、同じ絵柄のカードは入っていない。

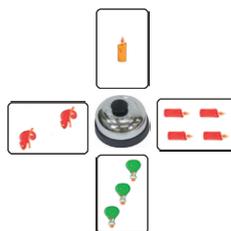


同じシンボルか、色のいずれかが合計5になったときにベルを鳴らします。色や形の組み合わせにも注意を払う必要があり、より難易度が上がったハリガリです。

ベルを
鳴らす時

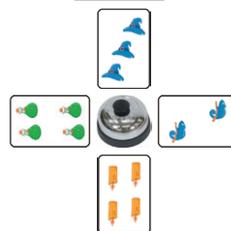
- ・同じシンボルの合計が5個(色が異なってもよい)または、
- ・同じ色の組み合わせが5個(シンボルが異なってもよい)

シンボルが同じ



ろうそく + ろうそく
黄色の1 + 赤色の4

色が同じ



青色帽子の3 + 青色カメレオンの2



シンボルと色が重ならない
5のカードが1枚の時

ハリガリ・ジュニア

1998年発売
¥3,080

・人数：2～4人
・対象：4歳位～
・時間：約15分



カード56枚、ベル1個

8色あるピエロのカードを順番に出していきます。同じ色で笑顔のピエロが2枚になった時、いち早くベルを鳴らしたら場のカードを全てもらえます。年少さんから楽しめる観察力と瞬発力のゲームです。



帽子をなくして困り顔のピエロに、うっかり間違えないように。

ハリガリ・エクストリーム

2005年発売
¥3,080

・人数：2～6人
・対象：6歳位～
・時間：約20分

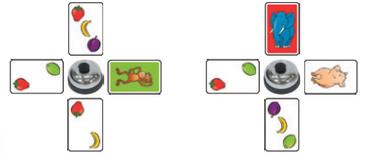


カード72枚、ベル1個

果物のカードを順番に出していき、同じ絵柄が場にそろった時、いち早くベルを鳴らしたら場のカードを全てもらえます。ブタ・サル・ゾウのカードと果物カードの組み合わせで、ベルを鳴らしてよい時といけない時の条件が加わり、難易度が上がります。



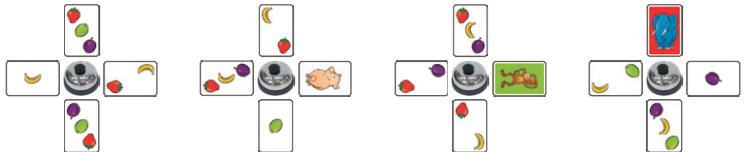
鳴らしてはいけない時



サル+ライム
ブタはライムが苦手

ゾウ+イチゴ
ゾウはイチゴが苦手

鳴らしてよい時



同じ果物カードがそろった時

ブタ+果物カード
ブタは全ての果物が大好物

サル+ライム
以外の果物

ゾウ+イチゴ
以外の果物

組み合わせが混在する場合、鳴らしてはいけない条件が優先されます。

リング・ディング (ハリガリリング)

2011年発売
¥3,300

・人数：2～6人
・対象：4歳位～
・時間：約10分



カード32枚、ベル1個

カードの絵をよく見て、同じようにカラーゴムを自分の指にはめ、ベルを鳴らすゲーム。一番早く、正しくできた人はカードがもらえます。カードを5枚集めた人が勝ちです。



右手なら手の甲、左手なら手のひらを自分に向けてゴムをはめる。



絵カードの上下左右をよく観察し、ゴムをはめる手順を考えながら、両手の指を器用に使う、幼児期の発達に良い遊びです。初めは子どもが分かりやすいカードでゆっくり遊ぶとよいでしょう。

クラック

2012年発売
¥3,300

・人数：2～6人
・対象：4歳位～
・時間：約10分



ディスク36枚、サイコロ2個

2つのサイコロが示す色と形のディスクを皆で一斉に取り合います。たくさん取れた人の勝ち。ディスクがマグネットでくっついて高く積み上がるのが楽しいです。ディスクを一番多く集めた人が勝ちです。



色サイコロ 白の目は全ての色がOK
形サイコロ 無地の目は全ての形がOK

サイコロの示すディスクが場に残っているときは、複数個集めてもよい。ただし、両手を使うのは禁止。片手だけでパチパチくっつけながら集めよう。

赤い矢印をさがせ!

スピードカップス

2013年発売
¥3,300

・人数：2～4人
・対象：6歳位～
・時間：約15分



カード36枚、カップ5色各4個、ベル1個

課題カードの絵柄の通りに、5色のカップを横に並べたり縦に積み重ねて、ベルを鳴らします。一番早く、正しくできた人はカードがもらえます。



横に並べるパターン

縦に積み重ねるパターン

初めは、カードの絵柄の上下左右や、カップの並びの横縦を、子どもが判別しやすい向きに、課題カードを置いてあげるとよいでしょう。大人は両手禁止にするのもよいです。

拡張セット (スピードカップス2)

2014年発売
¥1,760

・人数：2人
・対象：6歳位～
・時間：約15分



カード19枚、カップ5色各2個

縦横と上下前後が組み合わせられた難しい課題カードと、2人分の追加カップが入っており、スピードカップスが6人で対戦できます。



難易度が上がり、小学生や大人も盛り上がれます。